



MIZUNO NEWS RELEASE

2016年3月29日

一般生活、健康スポーツ分野のさらなる強化へ ライフスタイルスポーツ事業部 2016年度方針について

ミズノでの健康スポーツ事業を担うライフスタイルスポーツ事業部は、2016年度の方針と施策を策定しました。ライフスタイルスポーツ事業部は、ウォーキング事業やランニング事業を土台としつつ、近年は子供向けシューズの強化、スポーツカジュアル市場やワーキングシューズ市場への参入など、事業領域を拡大させている成長部門です。

2016年度は、さらなる成長に向けて下記の施策を講じることによりライフスタイルスポーツ事業部の売上を前年度比110%増とすることを目指します。

各分野の事業方針・計画

1) ウォーキング事業

2015年度は一般生活者に向けた自発的ウォーキングを後押しする「コソトレ（日常生活を‘コソッと’トレーニングに変える）」をキーワードにしたプロモーションが奏効し、高価格帯を中心に好調に推移しました。また、昨夏に発売したカジュアルコンフォートシューズ「WAVE LIMB DT2（ウェーブリムディンティーツ）」により新たな女性顧客を獲得できました。

今後はアパレルとの組み合わせによるウォーキングスタイルの提案を進め、2016年度には120万足（前年度比120%）の販売を目指します。

2013年度から参入したノルディック・ウォーク事業も順調に拡大しています。2015年度販売見込みはウォーキングポールが前年度比350%以上の販売になる見込みで、2016年度はさらに前年度比110%増を目指します。

2) ランニング事業

昨秋に一新しいブランドスローガン『RUN to ONE ～一人ひとりのゴールへ～』を掲げ、多様化が進むランナーのニーズに向き合った施策を講じていきます。昨秋に発売した新商品群は概ね好調に推移しており、特にランナーに幅広く使っていただける「WAVE RIDER 19（ウェーブライダーナインティーン）」や、もっと速く走りたいランナーに向けた「WAVE EMPEROR（ウェーブエンペラー）」は前モデルと比較しても大きく伸張しています。

2016年度は市民ランナー日本一決定戦の「WAVE EMPEROR CUP（ウェーブエンペラーカップ）」や、20周年を迎える『MIZUNO WAVE』の訴求などにより、50万足（前年度比130%）の販売を目指します。

3) ワーキングシューズ事業

2016年3月10日より公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）プロテクティブスニーカー規格・普通作業用（A種）認定のワーキングシューズ「オールマイティ」を販売、本格的にワーキング市場に参入しています。2016年度の目標販売足数は8万足、2018年度には年間20万足販売を目指します。発売以降、店頭消化状況は非常に好調で、このシューズを足がかりに今後はサポーター類や「腰部骨盤ベルト」などの周辺アイテムの販売も強化していき、ワーク市場への総合的な取り組みを進めます。また、新規販売チャネルの開拓を進めるとともに、スポーツ品開発で培った知見を活かした商品開発を進めます。

4) スポーツカジュアル市場への取組

2月にデビューした「ミズノスポーツスタイル」を軸に、復刻させた「M-LINE（エムライン）」シューズと併せて強化していきます。2016年度中にさらなる新製品の発売を計画しており、これまでのスポーツチャネルだけでなく、セレクトショップやスニーカー専門店など新規チャネルの開拓も行なう予定です。

ウエアでは、「SUPERSTAR」ブランドから西陣織を使ったスポーツウエアの第2弾を発売する予定です。遊び心のある成人男性をターゲットに、ライフスタイルスポーツウエアの世界感の創出に取り組みます。

5) キッズシューズ事業

近年大きく数字を伸ばしている分野で、2015年度は前年度比で約200%の成長を見込んでいます。子供の発育における足の重要性が注目されている昨今の市場環境は、ミズノの強みが活かしやすいと考えています。新商品の投入や体感イベントを通じたグラスルーツ活動の強化、子供用品販売店や大手シューズチェーンなどへのチャネル開拓に取り組み、2016年度は前年度対比110%以上の成長を目指します。

6) 一般生活者向け商品

吸湿発熱素材『ミズノ ブレスサーモ』や涼感素材『アイスタッチ』を中心に展開していた機能性アンダーウエアに、吸湿速乾素材『ドライベクター』を使用した「ドライベクター エブリ」を新たに追加、年間を通して訴求できるラインナップが整いました。2015年度の販売数は約112万枚（前年度並み）となる見込みです。販売チャネルの拡大を強化していくことで、2016年度はさらに前年度比107%増の120万枚を計画しています。

2014年2月に発売した「腰部骨盤ベルト」も順調に拡大しています。2015年度販売見込みは前年度比170%以上の販売になる見込みで、2016年度はさらに前年度比110%増を目指します。

今後もスポーツ品開発で培った開発力や知見を、一般生活分野や健康分野で活用していきます。

6) ウェアラブル端末事業の方向性

ランニングなどで使用するためのウェアラブル端末の開発を2014年度から進めてきましたが、開発過程において様々な想定外の課題が生じたため、事業採算性を勘案しながら抜本的な見直しを図ることとしました。よって、当初予定していた仕様での発売は見送ります。

しかし、今後もスポーツに新たな価値を提供することを目標に、より完成度の高いアプリケーション開発、端末開発に取り組んでいきます。

(報道関係者のお問合せ先)

東京広報課 林・山本


TEL:03-3233-7037

大阪広報課 大谷・植田

TEL:06-6614-8373

(お客様のお問合せ先)

ミズノ お客様相談センター

 0120-320-799